

稜友

July 2025, No.364



谷川岳 一ノ倉沢 衝立岩・中央稜

新潟稜友会

Homepage <http://niigataryoyu.wixsite.com/niigata-ryoyu>

巻頭言

この春から家庭菜園を始めてみた。戦争が起こったり、異常気象だったりの世の中。自分で食糧を調達できる術を持っておいた方がいいとの意識が強くなって来ている。山菜採りや釣りなども効率よく成果をあげられる場所や方法を少しずつ覚えていきたい。沢登りもクライミングも自分には全て旅の延長としてある遊び。新たな発見や喜びを見つけるのは自分の気持ち次第。自分の好みのスタイルでやるのがいい。楽しむことって大切だ。家庭菜園、釣魚、採集も楽しい遊び。学ぶ喜び、発見する喜びがある。

(海老名 誠)

会員の山行状況(2024 年 4 月～6 月) 新潟後友会メーリングリストより

日程	山域(形態)	メンバー
2025/04/20	福島いわき・青葉の岩場 (フリークライミング)	L.海老名、関川、野口、曾我
2025/04/26-29	小川山、瑞牆山 (フリークライミング)	須藤、他
2025/04/26	至仏山(山スキー)	L. 木嶋、曾我、野口、杉田
2025/05/04-05	岩泉・ひょうたんケイブ、久慈・侍浜 (フリークライミング)	L.海老名、関川
2025/05/05	白河・不動岩(フリークライミング)	須藤、他
2025/05/08	二王子岳(山スキー)	中村
2025/05/11	谷川岳 一ノ倉沢 衝立岩・中央稜 (クライミング)	L.海老名、野口
2025/05/20-21	小川山(フリークライミング)	須藤、他
2025/05/20	仙ノ倉山(尾根歩き)	木嶋
2025/05/27	祝瓶山(尾根歩き)	L. 野口、木嶋
2025/06/04	月山・姥ヶ岳(山スキー)	L. 木嶋、曾我
2025/06/06-08	小川山、瑞牆山 (フリークライミング)	須藤、他

2025/06/08	黒伏山南壁・中央ルンゼ (アルパインクライミング)	L.海老名、野口
2025/06/10	一切経山(尾根歩き)	木嶋
2025/06/17-18	尾瀬沼(尾根歩き)	木嶋
2025/06/24	尾瀬・小淵沢(沢登り)	L.曾我、野口、木嶋



朝日連峰を望む(5/27 祝瓶山)



獰猛な蚊の攻撃から登って逃げる(6/8 黒伏山)

2025 年 例会・巻頭言・編集担当・例会日一覧

月	例会テーマ(担当)	巻頭言	編集担当	例会日
1 月	気象・山行の適否(須藤)	須藤	小川	1/15(水)
2 月	雪崩(三木)	野口	中村	2/19(水)
3 月	装備点検(橋本(寅))	橋本	野口	3/18(火)
4 月	クライミング技術(野口)	肥后	三木	4/16(水)
5 月	山の食事(曾我・木嶋)	阿部	海老名	5/21(水)
6 月	ファーストエイド(関川)	池上	関川	6/18(水)
7 月	暑気払い(野口)	海老名	小川	7/16(水)
8 月	募集山行準備(海老名)	大島	中村	8/20(水)
9 月	ナビゲーション(中村)	小川	野口	9/17(水)
10 月	事故の事例研究(未定)	木嶋	三木	10/15(水)
11 月	総会に向けて	佐藤	海老名	11/19(水)
12 月	総会	鈴木	関川	12/ (日) * 未定

なお、例会担当者は市民会館の駐車場を利用できます。

月報締切日は月末、発行日は翌月 15 日

2025 年 会山行予定

日程	山行形態	山域	担当
2 月 2 日	雪上訓練 (※ビーコン訓練含む)	五頭連峰・赤崎山	海老名、須藤
6 月 1 日	岩場トレーニング	Camp4 (雨天の為屋内)	海老名
5 月～6 月	山スキー	富士山(継続課題)	曾我
8 月 31 日	沢登り・募集山行	未定	海老名、
9 月 7, 8 日	沢登り	室谷川	野口
未定	スラブハイク	未定	未定

冒険、始めてみた。

沢登り体験会・新規会員募集のパンフレット、出来ました！



山行報告

日程	山域(形態)	メンバー
2025/05/11	谷川岳 一ノ倉沢 衝立岩・中央稜 (アルパインクライミング)	L. 海老名、野口
2025/06/08	黒伏山 南壁・中央ルンゼ (アルパインクライミング)	L. 海老名、野口
2025/06/24	尾瀬・小淵沢(沢登り)	L. 曾我、木嶋、野口
2025/06/01	岩場トレーニング(雨天・屋内)	海老名、須藤、野口、曾我、関川

谷川岳 一ノ倉沢 衝立岩・中央稜(アルパインクライミング)

2025/5/18 曇り

メンバー:L.海老名、野口

前泊したのに1時間の寝坊。。

インフォメーションセンターから歩き出したのは5:40 過ぎだった

6:30 一ノ倉沢に到着

やはり今年は雪が多い

チェンスパイクや軽アイゼンを装着し雪渓を歩く

気温はそれほど低くなく(体感 10℃くらい)、雪渓表面は緩んでおり登りはチェンスパイクで問題なかった(下りは怖かった)



テールリッジの急登を登り、8:20 中央稜基部に到着

近くの空にガスが漂っており、岩は湿気り気味

去年の敗退時と逆で、海老名さんが奇数ピッチ、“の”が偶数ピッチで登り始めた(8:50)

2ピッチ目、昨年同様、また私が上がりすぎてしまった

海老名さんが切り立ったところをトラバースし、稜線へ復帰 10:15(2.5 ピッチ目。他の記録を見ると難しい方のトラバースだったらしい)



この日はとにかく寒かった

薄手のダウンに雨具上下を着ててもビレイ中に凍えていた

登る前には首に手をあてて温めてからでないと動かないほどだった

風もあり、体感 0℃くらいだったかと思う

5 ピッチ目(?)、トポだと「ルンゼ III+級」とあるが、ガスなのか染みだしなのかルンゼが全体的にヌルヌルで登れない

決心して左のフェースに出て A0 しながらなんとか越えた

ここで 30 分以上すったもんだした気がする

6ピッチ目の終了点で、これ以上はブッシュだから終わりにしよう、と下り始めた
(たしか 13:30 過ぎ)

後続はいなかったなので、同ルート懸垂下降

2 回目の懸垂で、結び目が岩角に引っかかったのか、どうにも引けなくなり 40m ほど登り返した
ここでも時間をロス

中央稜の基点に戻ったときには 16:40 をまわっていた

テールリッジを何回か懸垂を交えながら下り、雪渓をそろそろを下り、インフォメーションセンターに
19:20 頃に到着

あたりは真っ暗だった

とにかく寒くて寒くて楽しくないクライミングになったが、宿題だったルートが登れてよかったよかった

(野口)

黒伏山 南壁・中央ルンゼ(アルパインクライミング)

2025 年 6 月 8 日 曇り時々晴れ

メンバー:L.海老名、野口

前泊先は柳沢小屋

車が横付けできて、畳あり、トイレあり、水あり

だいぶ快適な小屋でした



柳沢小屋



快適な内部

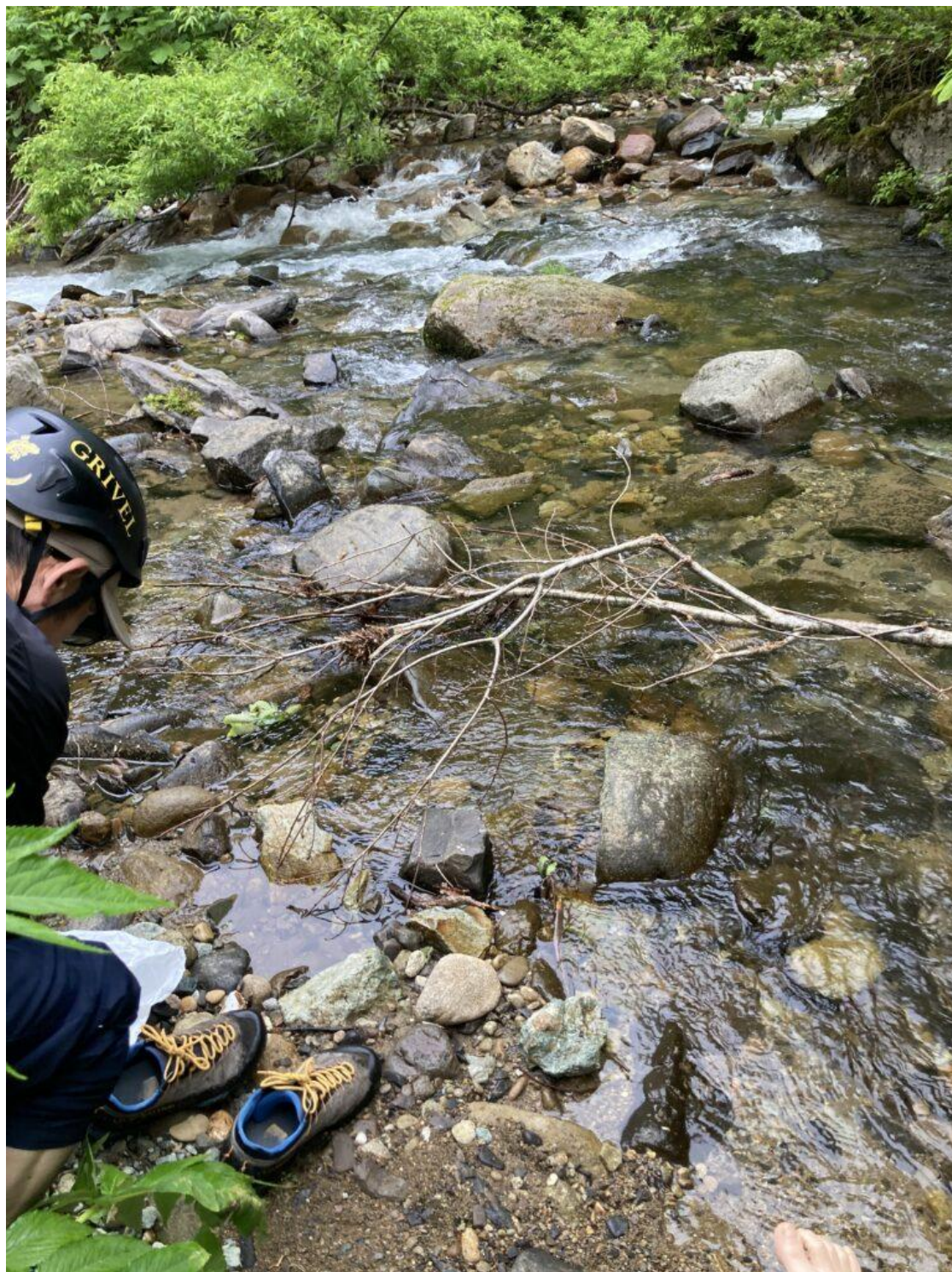
柳沢小屋から 10 分ほど下界方向へ走り黒伏高原スキー場の駐車場 P4 に到着

5:30 駐車場 P3 と P4 の間の林道を下りていく

道はドロドロでひどい

5 分ほどで渡渉点に到着

今回は沢靴を持ってきたので履き替えて渡ったが、それほど沢幅もないので裸足でもいいかもしれない



渡渉のため沢靴に履き替える



右手奥に白い岩壁が見え、枯れ沢を横切るあたりで岩場を示す看板(落ちていた)が見つかる



枯れ沢を遡上した先にある池。ぐるっと回る(道がわかりにくい)

7:00 頃 基部に到着

先行パーティーが1組取り付いていた

待っている間、虫の多さに気が狂いそうになる

近くに雪渓も残っていたので雪解け後で一斉に沸いたのかもしれない

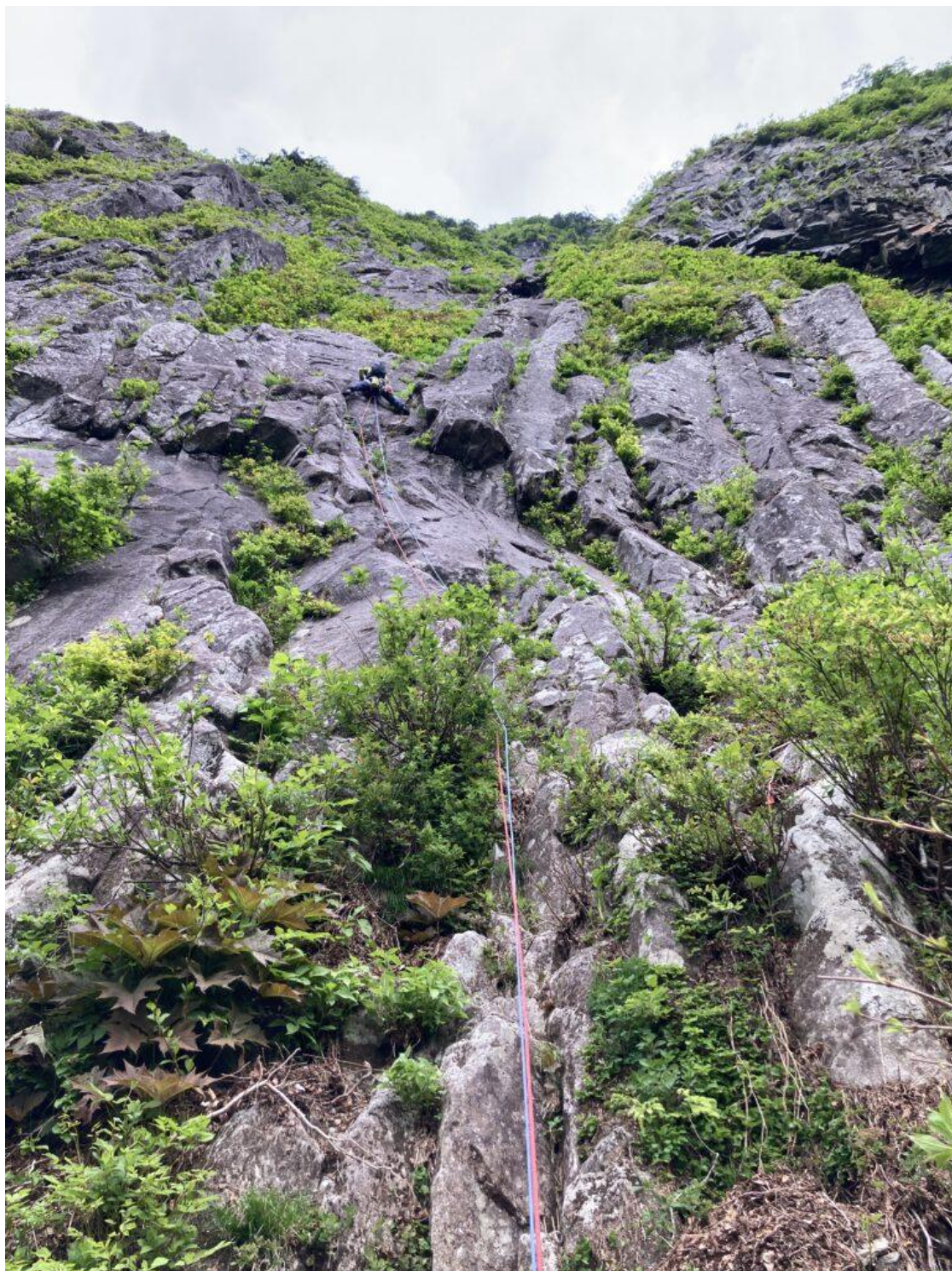
30分ほど待った後に登り始めた

同ルート下降なので不要な荷物は基部にデポ

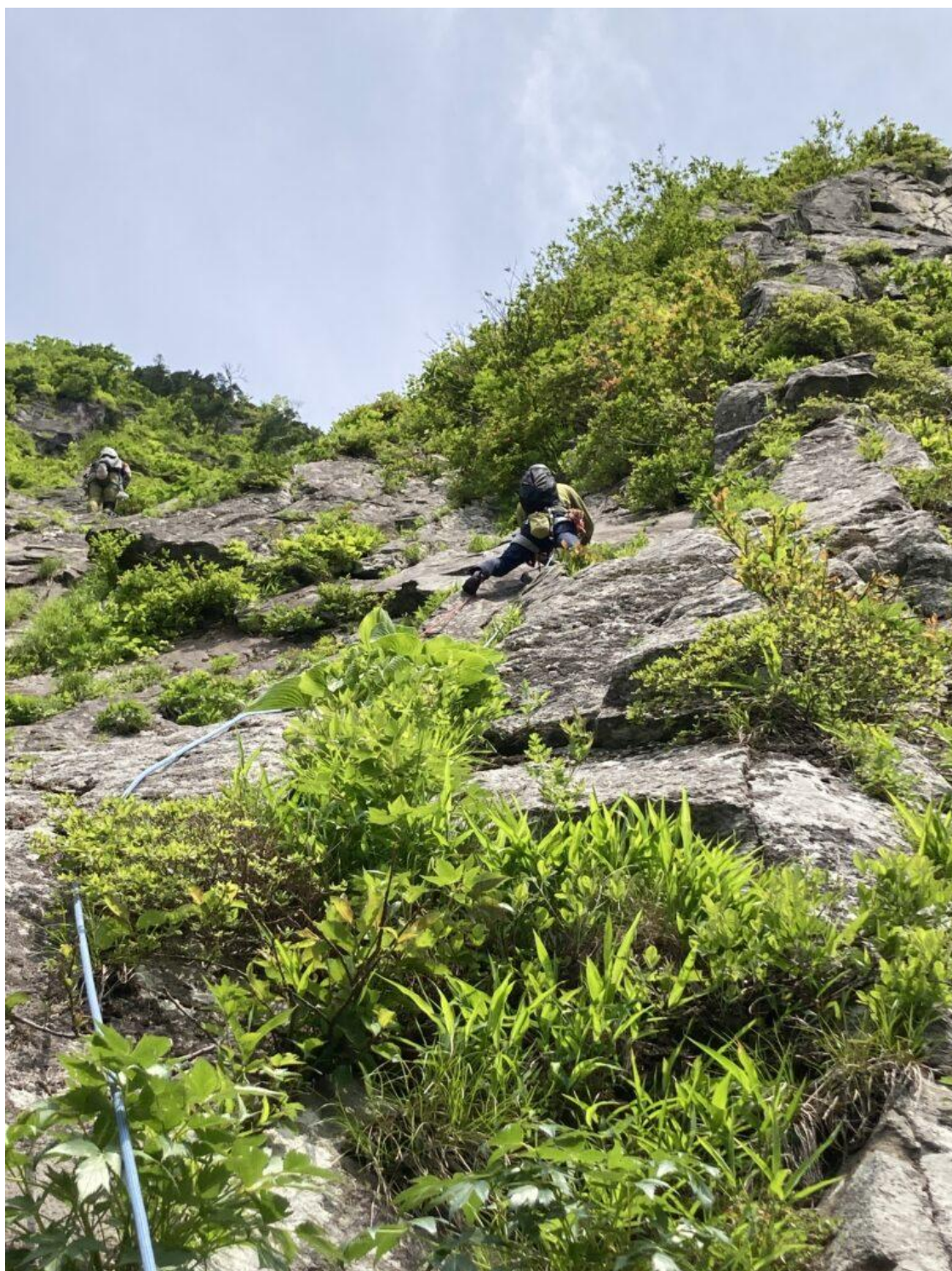
奇数ピッチ:海老名さん、偶数ピッチ:野口

黒伏山の岩は「凝灰岩(ぎょうかいがん)」で火山灰が堆積して固まったものらしい

粉っぽいがフリクションは悪くない



1P 目リード中の海老名さん



3P リード中(たぶん)の海老名さん

どの終了点もハンガーボルトのしっかりとしたものだった

ただし、ボルトを締め付けてもがくるくる空回りするものもあり、見た目に騙されると痛い目にあいそう

4P 目、野口リード

あともうちょっとで終了点、というところで「あと10」のコール

あれ？届かない

終了点に近づくとさらに「あと5」のコール

50m ロープなのだが、あと数 m 足りない

諦めてハーケンを打ち込み終了点とする

Eb さんが登ってきて、4.5P をリードしてもらう

先行パーティーにロープ長さを聞いたら60m とのこと

なるほど、、ネットの記録では同じようにロープが若干足りなかったという記事が見つかる



6P リード中の野口

6P 目あたりから浮いている岩が多くなる

たしか7P 目のフォローだったと思うが、ピンチで掴んでいた岩がごそと取れて落ちた(自分も)後ろに人が登ってなくて本当によかった。。

8P、9P がデシマルグレード

8P:5.10a 自分は高度感にびびり、A0 しまくり

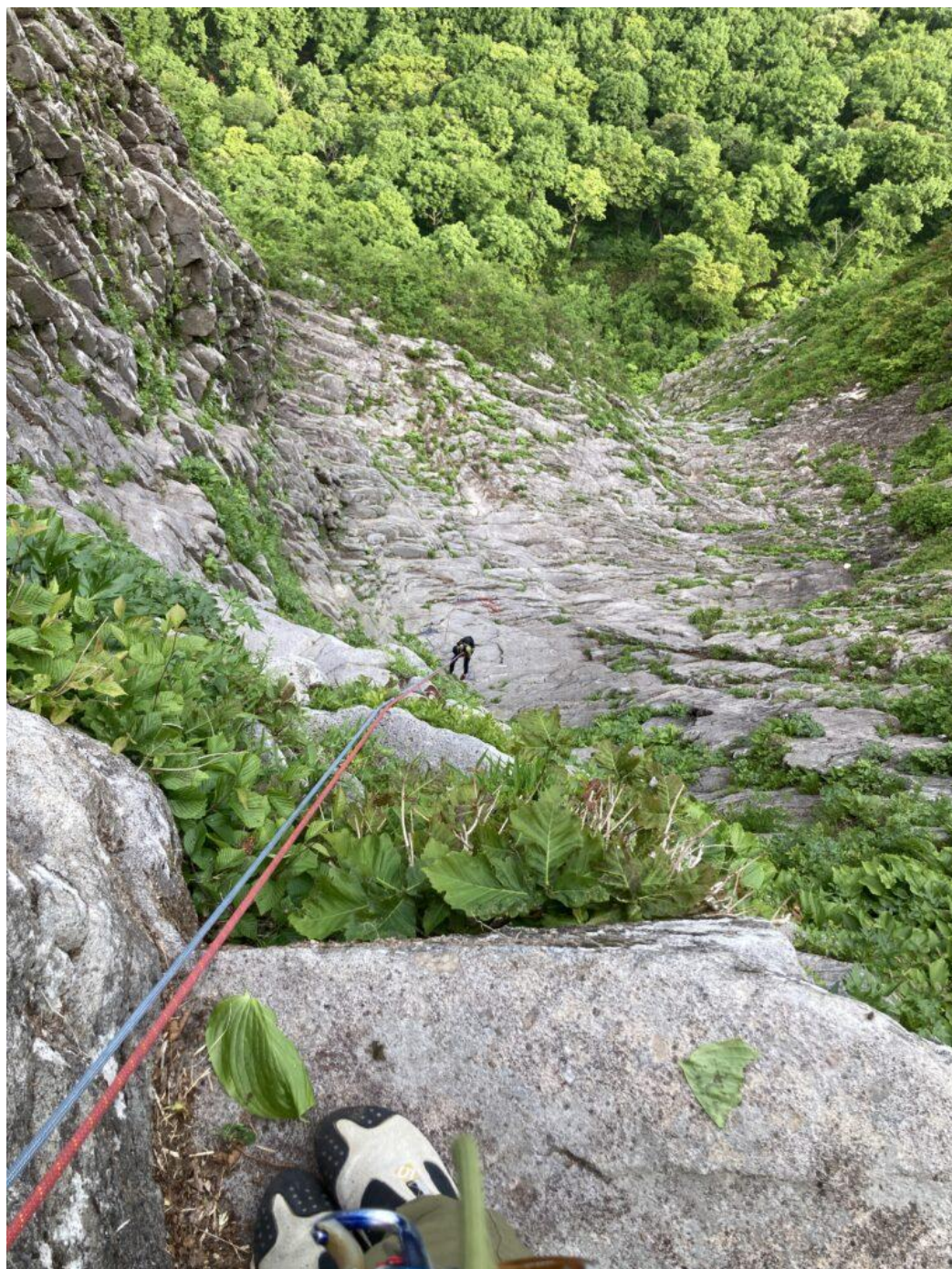
9P:5.10b 海老名さんも最終ピッチでヌンチャクを掴んでしまい悔しそうであった



9P 目 (5.10b) リード中の海老名さん

最終の9P 目の終了点は、木に囲まれたところで、登りきったー！という感動が薄いところだった

14 時をまわり、下降を開始する



どんどこ懸垂で下りる

基部に到着したのは 16 時をまわっていた

ほとんど休憩らしい休憩もなかったため基部で 30 分 モグモグ & ゴクゴク & ぷかぷか したのち、
来た道に戻り、もう一度渡渉し、17:45 頃駐車場に戻った

初めて登った黒伏山は先日登った谷川岳 一ノ倉 中央稜に比べ、グレードの難しさ以上に高度感が素晴らしく、素晴らしすぎて、、、怖かったー

↓ ChatGPT さんが教えてくれたピッチグレード

ピッチ	内容・長さ	グレード (YDS / 日本表記)
1P	ハング間の凹角を直上(約 30 m)	V+(5.10a 相当)
2P	スラブ(約 30 m)	III(5.7 前後)
3P	フェース～トラバース(約 35-45 m)	5.8(A0 併用)
4P	スラブ(約 50 m)	III(易いスラブ)
5P	逆層スラブ～左上(20-35 m)	III～IV+(比較的易)
6P	垂壁～階段状フェース(25-30 m)	V → 最新トポでは 5.10b
7P	垂壁～階段フェース～垂壁(25-40 m)	A0 主体で 5.10a (日本表記 5.8/⇔YDS では 5.10a)
8P	スラブ(15-25 m)	5.10b (A0 併用)
9P	スラブ～最後は草付(約 25 m)	5.10a～5.10b (A0 併用)

(野口)

尾瀬 小淵沢(沢登り)

2025 年 6 月 24 日 曇り

メンバー: L 曾我、木嶋、野口

遡行グレード: 1 級上(らしい)

国境の長いトンネルを抜けると

土砂降りだった

だみだこりゃー

とりあえず現地には行ってみるか、と沢に向かう

大清水登山口に着いたらなんと奇跡的に雨が上がった



大清水の登山口



すぐの分岐

林道を約 1.5h 歩き、入渓点に到着
小淵沢は増水していそうだが濁りはない

沢に向かって左の笹藪を回り込んで入渓



入渓点の石橋



ナメと雨上がりの新緑がきれい



ナメと小滝が続く



若干ぬめりがあるのでフェルト靴がおすすめ



10m ほどの滝はロープを出した



ラスボス10m3条の大滝(左岸を高巻いた)



標高 1,800m あたりで右に曲がる沢を離れ直進



100m ほど笹藪をかき分けて進む

14:00 頃 脱

登山道に出て、すぐに小湍沢湿原に到着

一面のワタスゲが見頃で、木嶋さんのテンションが上がる



ワタスゲ天国にテンション MAX の木嶋さんと、すたこらさっさの曾我さん

一ノ瀬バス停から、車をとめた大清水登山口までシャトルバスがある
バスの最終時刻は 16:30
やばい、間に合わない
長蔵小屋の生ビールは諦め小走りで急ぐ



帰り道は快適木道。フェルト靴でも滑らなかった



セーフ

小走り2時間超

薄いフェルトの沢靴で木道をとばしたのでなんだか疲れた。。

1 級上の沢とのことで、沢初めにちょうどいい感じだった

「ほっこりの湯」で汗を流し

「馬鹿旨」でトマトラーメンを食す



いつものトマトラーメン

<参考: 沢登りの装備>

ロープ: 30m 靴: フェルト2人、ラバー1人(ラバーでもいいけるがフェルトがおすすめ)

ガチャ: ハーケン、カム..使わず

(野口)

岩場トレーニング(会山行・雨天の為 屋内)

2025年6月1日

メンバー:L.海老名、須藤、野口、曾我、関川

当初の予定では、杉滝岩を会場に

- ・アンカー作成
- ・中間支点作成
- ・荷上げ
- ・事故者を背負っての懸垂下降
- ・半マストを使用した懸垂下降、ビレイ
- ・グリップビレイ、肩がらみビレイ
- ・人口登攀

と、盛りだくさんなメニューで目一杯行いたい…と思っていたのですが、週末の雨が2週にわたり、やむを得ずクライミングジム(Camp4)での屋内トレーニングとしました。

ジムではハーケンやらハンマーは使えないので、練習項目は以下の通り

- ・アンカー作成
- ・ライジングシステム
- ・ロープワーク

日頃からやっておくべき練習でもあり、クライミング技術も道具も日進月歩で進化していることを改めて感じました。

また、ロープワークの練習会の機会を設けたいと考えております。

(メーリングリストの投稿から抜粋・補足)

コラム

2025 年 3 月初旬の野鳥観察

地元某山の登山口に、カワガラスの観察に行きました。ここは川面に顔を出した石が点在する浅瀬です。何組かのつがいが居ついていて、鉢合わせすると4羽入り乱れてケンカしていたりします。



食事中。捕まえたのはトビケラの幼虫？



ピョン



きれいな空中姿勢で



チャプン



カワガラスが急に辺りを警戒し出し、飛び去りました。

周りを観察すると、500～600m ほど離れた枯れ木にハヤブサを発見。しかも、もう1羽が近くに飛んで来ました。



つがいに違いはないと思ったのですが、飛んでいる方はもう一度上空を通過して飛び去りました。止まっている方は、交尾姿勢を取っている？ 遠く離れた迷彩 TENT を警戒して降りて来なかったのなら、中々手ごわい。



しかし、拡大して良く見ると、飛んでいた方はクマタカでした。周辺では以前にもクマタカのつがいを確認しています。



止まっていた方はハヤブサで間違いありません。1 日中止まり木を見守っていると、1, 2 回はたいてい会えます。少し嘴に青みが残っている様です。放浪の末ここにたどり着いた若鳥なのかも知れません。

近くに立派な岩塔の物件あり。ここが新たなハヤブサ営巣地になる日を、心待ちにしています。

(小川)



● 会費について

☆会員 年会費 4,000 円（夫婦会員は2人で 6,000 円）
山岳保険料 4,490 円～ 月割可（詳細は池上か中村まで）

●万代市民会館集会室利用方法

最初に来館した人は、4階ロッカー室の稜友会の棚から、当日の日付が書いてある利用許可書1枚を持って1階受付に提出し、必要事項に記入の上、部屋のカギを受け取って会場に入ってください。

●必ず守ってください

山行計画書、下山報告共に
中村・須藤まで、
メール・携帯電話等で連絡の事

次回原稿締め切り 7 月 31 日（木）中村さんまで

●原稿形式

基本 Word で行先（形態）、日付、メンバー、本文、作成者に写真を添えて作成をお願いします。

例

鳥海山湯ノ台口（山スキー）

2000年6月3日（土）～4日（日）

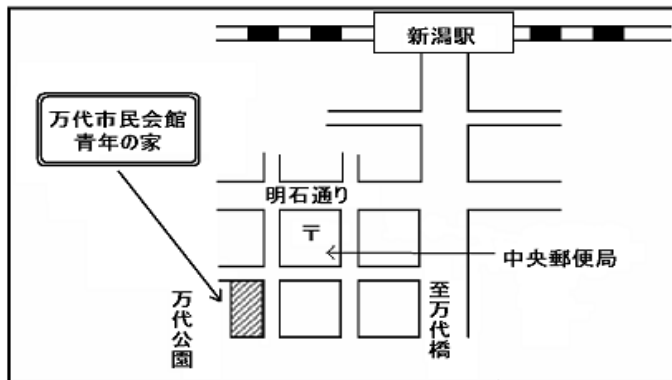
メンバー L. 橋本、

本文

（橋本寅信）…作成者。本文末にカッコでフルネーム

新入会員募集中！

毎月第3水曜日 PM7:30～万代市民会館4階の「青年の家」にて集会を開催しています。気楽に顔を出してください。詳しくは、TEL 080-9444-3190 中村 まで



[編集後記]

山行報告にあった山形・黒伏山の獰猛なやぶ蚊。知っています。緑色で刺されると痛い！
時期が違って、ブユの方かも知れませんが。ちなみに北魚沼では、ブユのことを“カ”と呼びました。
蚊は“ヨガ”（夜蚊）で、ガガンボが“ブヨ”、カゲロウは“ブユシ”。アブとハチは、そのままですが、スズメバチは“オオカンバチ”です。

(小川)

.....
月報「稜友」July 2025 No.364 2025 年 7 月 15 日 発行

発行者 新潟稜友会 代表 中村 政道

〒945-1432 柏崎市善根 1573 Tel 025-727-3336
.....